



平成 25 年 9 月 30 日

各 位

会社名 株 式 会 社 ソ ケ ッ ツ  
代表者名 代表取締役社長 浦 部 浩 司  
(コード番号:3634 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 宮 木 公 平  
経営企画管理本部長  
( TEL. 03-5785-5518)

### カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 9 月 30 日開催の取締役会において、平成 25 年 8 月 1 日に公表させて頂きました「カルチュア・コンビニエンス・クラブとの資本業務提携に関する基本合意書の締結、株式の売出し、第三者割当による新株発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」の記載の通り、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（東京本社：東京都渋谷区 代表取締役社長兼 CEO：増田宗昭、以下「CCC」といいます）との合弁会社を設立することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、資本提携につきましては、CCCによる既存株主からの当社株式の取得及び第三者割当増資引受を経て、第二株主である KDD I 株式会社と同数の 240,000 株（株式比率 9.93%）を既に取得しております。また、あわせて、業務提携に関する確定契約書の締結についても本日の取締役会にて決議しております。

#### 1. 業務提携及び合弁会社設立の理由

当社の「MSDB (※)」の可能性を最大化し、収益機会の拡大を目指すこと、並びに両社の競争力強化及び顧客価値の最大化を目的に両社のデータベースの積極的な連携を図り、CCCグループとの資本・業務提携を進めることが、当社が掲げる「データベース・サービスカンパニー」として、中期的な発展、成長に資すると期待し、当社の企業価値向上につながるものと判断したため、今回の資本・業務提携に至りました。

その後、予定通り、CCCの当社株式の取得及び第三者割当を実施し、業務提携に向けて協議を進めた結果、確定契約の締結となりました。なお、今回の業務提携において、両社のデータベースの積極的な連携により日本独自のデータベースマーケティング事業への展開を主な目的とし、合弁会社を設立することといたします。

※MSDBとは、音楽、映像、書籍、放送、人名、地域情報を体系的かつ作品の特徴情報を詳細に整理したデータベースであり、人の感性を捕捉した特徴情報等をキーとして作品情報や感性情報の関連性によって横断

的なメディア関連サービスを実現します。また、独自IDによって作品の紹介から、著作権報告及び購買までスムーズな管理も可能となります。

## 2. 業務提携及び合弁会社設立の内容等

### (1) 業務提携及び合弁会社設立の内容

CCCグループが保有する国内最大規模の会員基盤及びエンタテインメントを中心とした商品データベースと当社開発のデータベース「MSDB」及び当社サービス「LIFE's radio」等で活用しているマーケティングエンジン、データベースの開発とサービス両面での協業を推進して参ります。

その中で、今回設立する合弁会社では、データベースマーケティング事業の展開を目指して段階的かつ積極的な連携を実現して参ります。具体的には、まず第一段階としてCCCグループが保有する会員データベース及び商品データベースと作品データベースを有する当社MSDBを連携させた「共通基盤」となるデータベースを構築し、このデータベースを活用して、CCCグループの店舗やオンラインサービスを利用する顧客向けに今までと比して良質で特徴的な商品情報の提供を行って参ります。第二段階としてこの共通基盤となるデータベースについては、第三者へのライセンス提供等も視野に入れて取り組んで参ります。また、併せてデータベースの効率化を図るためCCCグループが保有する商品データベースの運用の受託も行って参ります。

これらのステップと平行し、最大の目的となる第三段階としてCCCグループが保有するマーケティング・データと当社の「MSDB」が保有する作品に付与した感性的な情報を活かす当社独自の感性マーケティングエンジンを組み合わせた新たなマーケティング事業への取り組みを検討して参ります。両社の経営資源を活用した日本発の特徴的なマーケティングシステムにより5兆円ともいわれるマーケティング関連市場への展開を図ります。

当社MSDBは、作品・情報に対して事実情報を基にした定量的な情報分類のみならず人が持つ感性的な切り口から特徴付け及びそれら詳細な特徴情報を組み合わせたロジック(数式)化による情報の分類・編成を行っております。感性的な気分や雰囲気、シチュエーション等を切り口としたサービスとして当社のオリジナルの日本生まれのパーソナルラジオ「LIFE's radio」があります。「LIFE's radio」では感性的な特徴情報の分類と編成を活用して、気分や雰囲気、シチュエーションに対して楽曲を選曲する独自の仕組みを開発しております。当社では、今後、この仕組みをより発展させ音楽・映像・書籍情報及び生活情報に関する感性的な特徴情報を分析し、ユーザーの心境やシチュエーション、趣味、嗜好等を類推する感性マーケティングエンジンにより注力して参ります。

合弁会社では、この独自の感性マーケティングエンジンを介するマーケティングシステムを構築し、両社の自社サービスに対して特徴的なレコメンドサービス等を提供することで視聴や購入の機会をより一層増加させ、更なる収益機会の拡大を図ると共に第三者への提供と広告サービス等への展開も検討して参ります。これらの取り組みは、当社中期事業計画のポイントのひとつである当社の事業領域を作品・コンテンツ関連市場のみならず5兆円ともいわれるマーケティング関連市場への拡大を実現するスピード及び精度の向上にも寄与するものと考えております。

なお、業務提携につきましては、CCC、株式会社T-MEDIAホールディングス(CCCグループのネット事業を全て統括する中間事業持株会社)及び合弁会社と当社での4社間との業務提携となっております。

(2) 業務提携先の相手先の概要

(1) 名 称	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
(2) 所 在 地	大阪市北区梅田二丁目5番25号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長兼 CEO 増田 宗昭
(4) 事 業 内 容	TSUTAYA、TSUTAYA DISCAS、Tカード等のプラットフォームを通じてお客様にライフスタイルを提案する企画会社
(5) 資 本 金	100 百万円
(6) 設 立 年 月 日	1980 年 1 月 31 日
(7) 従 業 員 数	1,915 人(単体 平成 25 年3月末)※契約・嘱託社員、アルバイト除く
(8) 主 要 取 引 先	株式会社 MPD など
(9) 主 要 取 引 銀 行	みずほ銀行、三井住友銀行
(10) 筆 頭 株 主	増田 宗昭
(11) 当事会社間の関係	
資 本 関 係	当該会社は第二株主として当社株式を保有しております。(240,000 株 株式比率 9.93%) また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。当社と当該会社の関係会社との間には、当社からMSDBを活用した TSUTAYA オンラインショッピング向けの商品・作品おすすめ紹介サービスの提供について取引関係があります。
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。
(12) 経 営 成 績	売上高 174,980 百万円、当期純利益 5,919 百万円 (平成 25 年3月期 連結ベース)

### (3) 合弁会社の内容

(1) 名 称	株式会社CSマーケティング
(2) 所在地	東京都目黒区青葉台三丁目6番28号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山内 智裕
(4) 事業内容	・データベースを活用した情報処理サービス事業及び 情報提供サービス事業 ・マーケティングリサーチ及び各種情報の収集、分析 に関する事業
(5) 資本金等	100百万円
(6) 設立年月日	平成25年10月2日(予定)
(7) 決算期	3月末日
(8) 出資比率	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社：51% 株式会社ソケット：49%

CCCから取締役を3名、当社から2名を予定しております。当社からは、エモーショナルマーケティングエンジン開発プロジェクトグループリーダー(平成25年10月1日付発令)である伊草専務取締役と当社連結子会社の人名データベースを保有する株式会社T. C. FACTORYの代表取締役でもある長取締役の2名を当該合弁会社の取締役として参画する予定であります。なお、当社組織変更及び人事異動についても同日付で公表しております。詳しくは、「組織変更及び人事異動のお知らせ」をご覧ください。

### 3. 合弁相手先の概要

「2.(2) 業務提携先の相手先の概要」をご覧ください。

### 4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成25年9月30日
(2) 合弁契約書の締結日	平成25年9月30日
(3) 合弁会社の設立日及び事業開始日	平成25年10月2日(予定)
(4) 業務提携契約書の締結日	平成25年10月2日(予定)

### 5. 今後の見通し

合弁会社については、関連会社となり、持分法適用会社の予定となります。

平成26年3月期の連結業績に与える影響については、下半期であり、かつ今期においては、

両社のデータベース連携のための共通基盤の初期開発と一部の運用の開始時期となることから、その影響は、軽微となる予定であります。今後、業績予想の修正が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。なお、本件については、中期的に業績向上に資するものと考えております。

また、同日付にて「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」を公表しております。

これについては、サービス開発案件の獲得及び開発の効率化により、平成26年3月期第2四半期において、売上高にて10%程度、営業利益は150%程度それぞれ計画を上回る見込みとなりましたが、今回の業務提携に併せて、今後の中長期的な成長戦略と経営資源を踏まえた結果、音楽・映像・書籍データベース関連及びマーケティングエンジン関連の開発を短期的に加速すべく現在開発中のソフトウェア等を中心に選択と集中の再整理を実施いたしました。それによって開発をより機動的に行うためにも、MSDBを活用した一部の自社WEBサービスの終了及び一部の地域・放送関連等の開発等については、一時中断することとしたため、固定資産の廃棄及び減損を実施し、あわせて関係会社株式の評価損も計上することといたしました。

詳細については、「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

以上